

健康づくり食生活支援事業報告

平成18年度

北海道歯科医師会

1. 事業名

健康づくり食生活支援事業

2. 実施組織

北海道・北海道食生活改善推進員団体連絡協議会・北海道栄養士会・北海道歯科衛生士会・北海道歯科医師会・健康づくり食生活支援専門委員会

3. 事業の目的

高齢者が健やかな生活を送るうえで、「経口摂取を維持すること」の栄養学的、かつQOLという観点からの重要性を検証すること、および地域住民に対する啓発を目的とする。

本会では平成16年10月、札幌市において「いつまでも口から食べよう」をテーマとしたシンポジウムを開催し、学識経験者をはじめ行政や栄養士会、食生活改善推進員団体連絡協議会などの関係団体と連携し、高齢者の栄養問題について検証し、地域住民に対して情報提供を行った。

しかし、広域である北海道の特殊性を考慮するとき、今後は札幌圏以外の地域においても実施が必要とされ、本年度は旭川市において開催することとなった。引き続き、前述の関係団体と連携し、情報発信や運動推進員の養成などを通じて、この運動を広く推進していく。

共通のテーマのもとに他の関係職種と連携しながら、歯科の基本的な役割としての、「義歯の適合性」や「口腔ケア」の重要性の提言のみならず、「栄養サポートとしての歯・口の機能」という切り口からの啓発に対してはその有効性を実感しており、「歯科保健・歯科医療の重要性」の認識へフィードバックされる成果が充分に期待される。

今後、この「いつまでも口から食べよう」という価値観を浸透させ、共通認識を広めていくためには、更なる積極的な持続性のある活動の取り組みが不可欠と考える。併せて、この活動を通して「栄養関係職種の連携」「栄養サポートに対する医療保険・介護保険の評価」「人材育成」など、多くの課題の解決に向けての方向性を模索していきたい。

4. 事業の概要

- 1) 平成17年7月2日（土）、「平成17年度いつまでも口から食べようシンポジウム」を開催（於：旭川ターミナルホテル）し、基調講演およびパネルディスカッションを行った。
- 2) ホームページおよびメールマガジンにより情報発信
- 3) 口から食べることを継続するために必要な因子の検証
- 4) 高齢者のQOLあるいはADLにとり、口から食べられることの重要性と有効性を啓発
- 5) 高齢者にやさしい介護食の研究とレシピを提供

- 6) 摂食・嚥下リハビリテーションとの連携
- 7) イコールパートナーとしての『運動推進員』を広く募集

5. 事業の評価

高齢化が進んでいる近年、医療技術の進歩に伴い延命率は向上している一方で、後遺症による摂食嚥下機能障害が増加している。摂食嚥下障害による生活の質（QOL）の著しい低下や、誤嚥性肺炎、窒息、脱水、低栄養のリスクを考えるとき、今後この問題は益々重視されてくるであろう。

平成16年10月に札幌市で開催した1回目のシンポジウムに引き続き、平成17年7月旭川市において2回目の「いつまでも口から食べよう」シンポジウムを行なった。告知期間が短かったにも関わらず、旭川市および周辺市町村から約250名の方々の参加があり、前回同様盛況のうちに終了することができ、あらためて「口から食べられる」ことへの関心の高さを実感した。今後は住民側からの情報提供を求める声が強まることが予測される。

高齢者が生活機能を維持し、健康で生きがいを持って生活できることが地域社会の目的として着実に地域住民へ浸透しつつある今日、道民の「いつまでも口から食べられる」重要性への認識が更に高まるよう、行政や各関係組織との連携を専門深めながら、より有効的な啓発活動を模索していくかなければならないと考える。楽しく、美味しく食事を出来ることが、どんなにか高齢者の生活の豊かさを充足するものであることを訴え続けなければならない。

※その他別添資料参照

【別添資料】

- ・ 健康づくり食生活支援専門委員会 2年間の活動実績
- ・ インターネットホームページ抜粋
- ・ メールマガジン「噛むC o m e 歯っぴーレター」
- ・ 平成17年度いつまでも口から食べようシンポジウム 案内チラシ
- ・ 平成17年度いつまでも口から食べようシンポジウム 開催報告
- ・ 「高齢者に優しい介護食メニュー」
- ・ 「今後の展望」

健康づくり食生活支援専門委員会 2年間の活動実績

<平成16年度>

- | | |
|--------------|--|
| 平成16年 6月 8日 | 第1回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成16年 7月 2日 | 第2回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成16年 7月 26日 | 第3回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成16年 7月 26日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター創刊号 発刊 |
| 平成16年 9月 1日 | 第4回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成16年 9月 9日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第2号 発刊 |
| 平成16年 10月 2日 | 「いつまでも口から食べよう」シンポジウム 開催 |
| 平成17年 1月 28日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第3号 発刊 |
| 平成17年 2月 7日 | 第5回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成17年 3月 22日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第4号 発刊 |

<平成17年度>

- | | |
|---------------|--|
| 平成17年 6月 23日 | 第1回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成17年 6月 27日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第5号 発刊 |
| 平成17年 7月 2日 | 「いつまでも口から食べよう」シンポジウム 開催 |
| 平成17年 7月 12日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第6号 発刊 |
| 平成17年 10月 11日 | 2回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |
| 平成17年 11月 1日 | メールマガジン<いつまでも口から食べよう>
嗜む COME ハッピーレター第7号 発刊 |
| 平成17年 11月 5日 | さわやか道民・健康講座 開催 |
| 平成18年 2月 28日 | 第3回健康づくり食生活支援専門委員会 開催 |

<その他>

いつまでも口から食べよう推進員 2月28日現在：91名